

第 35 回グリーンプランおおた推進会議 議事概要

日 時 令和 5 年 1 月 20 日（金） 14:00～16:30

会 場 消費者生活センター 大集会室、WEB

出席者

【推進会議委員】 島田委員長、村上副委員長（WEB）、中村委員、加藤委員、前園委員、樋口委員、相川委員、牧野委員、原田委員、菅原委員、西山委員、遠藤委員、小泉委員 計 13 名

議題 1 第 34 回グリーンプランおおた推進会議の振り返り

議題 2 パブリックコメント実施結果について

・承認する：13 名 承認しない：0 名

委員長

・パブリックコメントの実施結果の資料 2-2 は、事前配布から当日配布で若干変わったということだが、具体的にどこが変わっているのか。

→**事務局**

・パブリックコメントの意見要旨について整理ができていない部分があり、趣旨は事前配布資料のとおりだが、校正等の修正をしている。

委員長

・前回に比べて読みやすく、わかりやすく、説明も適切になったと思っている。また、前回の委員からのコメントに対して、非常に真摯に対応され、内容もブラッシュアップされたと思っている。特段にさらなる修正をお願いするものではない。

委員長

・議事(1)の議事録はホームページに掲載されるが、ご承認いただけるか。

→**一同**

・「異議なし」の声あり

委員長

・パブリックコメントで 46 件のご意見・ご質問を頂戴した。特にみどりの取組に対する意見を中心に多くいただき、御礼を申し上げます。取組を所管する部局においては、パブリックコメントのご意見をお読みいただき、今後の施策・事業の進め方にあたっては、検討が必要なものもあると思うので、よろしく願いしたい。

議題 3 改定案について

・承認する：13 名 承認しない：0 名

委員

・素案に比べて素晴らしくよくなっている。委員からの指摘に対しても、わかりやすく見やすくなっている。

- ・118～119 ページの「重点的な取組の推進」に関しては、ぜひ多くの方に関心を持って参加いただければと、今後に期待する。

委員

- ・イラストが入り、柔らかいタッチの読みものとして、歓迎する。
- ・グリーン基金の創設については、今後の進捗や運用について、引き続き確認していきたい。
- ・61 ページのコラムは、「オープンガーデン」として北海道恵庭市の事例が入っているが、唐突感がある。何か特別な意図はあるのかご説明をお願いしたい。

→事務局

- ・ご指摘のページの他に、97 ページに世田谷区の「みどりと花いっぱい活動」、120 ページに熊本県の「くまもと花とみどりの博覧会」という取組を記載している。区民に関心を持っていただくための内容としてコラムを掲載している。大田区でもみどりの取組としてできることがあるのかを考える1つの要素として、新しく追加している。
- ・コラムなのか取組なのかという表現が少し不足しているので、説明を追加して、あくまでもコラムであることがしっかりとわかるように示していく。

委員

- ・承知した。ほかの2点を見落としていて申し訳ない。1つの意見として受け止めていただければ結構である。

委員

- ・第Ⅰ期の課題を引き継いでいて、第Ⅱ期の計画・方針はとても素晴らしい。特に第5章の「地域別計画」がわかりやすく具体的で、現状に合った指針がよくわかる。
- ・第2章の「これまでの成果と課題」、44 ページの「(2)実効性のある分かりやすい計画へ」の中で、「大田区における庁内連携体制を強化する」と記載があり、横断的な繋がりが期待される。図書館、文化センター、ホールや郷土博物館等の公共施設が様々なイベントを実施しているため、一緒に横断的にしていただきたいと思う。
- ・文化センターには多くの社会団体があるが、園芸に関係するサークルがない。増やすようお願いしたい。

→事務局

- ・今回のグリーンプランでは、公共施設の区分、建物の緑化についても、方向性を示している。また、連携体制の強化も、今後、みどりの取組を進めていくために、しっかりと関係所管と連携を図りながら進めていく。

委員長

- ・以前はコラムに「コラム」という表記が入っていたと思う。コラムの目次も入れたほうがスッキリすると思うので、ご検討されたい。

委員

- ・このグリーンプランをおたを本として見たときに、写真がとてもきれいで、「見てみたい」とか、「大田って、こんな所だったんだ」と、私は今頃になって気づくことがある。わくわくす

ることをうれしく思う。

委員長

- ・わくわくという言葉が出たので、その関連で紹介する。副委員長から「ほぼ完璧です。但し、区民の方がわくわくするような計画の推進を期待します」というコメントを頂いた。

委員

- ・随分と前のものとは印象が変わり、うれしく思う。
- ・118 ページの「グリーンインフラ」の所だけは、わくわく感がない。グリーンインフラは、なかなか伝わりにくいキーワードと思うが、グリーンインフラを取り入れたり、重点的に進めていったりするときに、ここの表現だけが堅く戻ってしまった印象のページになっていて、残念である。雨水の貯留槽のイラストだけ、ほかのテイストと違っており、「グリーンインフラって、いいじゃない」という感じになるようなページになったらいいと思う。

→**委員長**

- ・グリーンインフラは、事業計画が展開されるので、そういったものも使いながら、区民の方にわかりやすく紹介していくことも考えられる。現状のスケジュールを見ると厳しいと思うので、今後の期待度も含めて、ご了解いただければと思う。

委員

- ・剪定枝をウッドチップにして撒くということについて、非常にいい企画ではないかと思っている。今後に向けて、ぜひ実施していただければと思う。次回の会議までに、ある程度、内容等をもう少し細かく説明していただければありがたい。

→**委員（都市計画課長）**

- ・具体的にどこの現場でどうするか、検討も始めていない状況なので、これをきっかけに可能かどうか、検討を始めていきたい。
- ・次回に具体的な実施計画等をご提示するのは難しいが、グリーンプランおた推進会議の中で、引き続き議論させていただければと思う。

委員

- ・枝だけでなく、公園や街路樹の落ち葉の後始末をしてもらいたいと思う。大田区には臨海部に空き地もあると思うので、区内で発生する枝や落ち葉をチップや腐葉土にして、自然に返す取組を率先してできたら、グリーンインフラの一部にもなるのではないかとと思う。

副委員長

- ・繰り返しになるが、非常によく修正いただいたと思う。個人的に大変だったろうと思うのは、以前に議論の材料となっていたものから、第1章から第6章までいろんな所に指摘が入って、それぞれを直せばいいというだけではなくて、第3章や第5章を直すと、最初の第1章・第2章もそれに整合させるように直さなければならず、修正がかなり大変だったろうと思う。真摯にご対応いただいて、よくなったと思っている。
- ・グリーンインフラに関しては、今後の展開に期待をするということで、考えていけないといけないと思った。若干、災害防止に主軸を置かれたような記載になっている。グリーンイン

フラは、インフラとしての意味付けを増やすということなので、地域コミュニティの醸成、みどりに関わるコミュニティづくり、よりよい都市生活のためのオープンスペースづくり等、全部を含む。先ほどからキーワードとして出していただいている「わくわく感」をグリーンインフラ全体の中でつくっていきえると思っている。

- ・グリーン基金を提案いただき、位置づけてあるので、ぜひ実現してほしい。基金を使って、特に寄付等で集めたお金に関しては、より深い水準のものをつくっていく格好でみどりの質を上げていけるといいと思う。ぜひ今後の委員会の議論に乗せていただきたいと思う。

委員長

- ・グリーンプランおおたは基本計画で、これから区で予算等を含めて、事業化・実施化が検討されていくのが通常だと思う。カーボンニュートラル、生物多様性、防災・減災等、いろいろと都市が直面する問題があると思う。環境アクションプラン、脱炭素戦略等とグリーンプランおおたは、大きな関連性を持っていると思う。とりわけ、ウッドチップや腐葉土の話は、環境アクションプランに関係が深いと思う。それに加え、生物多様性も国が動き出している。大田区では、これも環境基本計画で対応することになっているが、グリーンプランにも非常に密接な関係がある。大田区で様々な課題をクリアしていく必要があると思う。
- ・本日、様々な課の関係者がいると思うが、ぜひ連携されていかれると、大田区のよりよい環境が創出されると思う。
- ・字句の修正、写真の挿入、誤字修正等、細かい修正がある。委員長・副委員長の預かりとさせていただきます、事務局と最終調整の上、編集していければと思っている。

→一同

- ・「異議なし」の声あり

委員（環境清掃部長）

- ・アクションプランとグリーンプランおおたは連携したかたちで、地域ごとの特性を活かして、環境保全、再生みどりの構築等を図っていく必要もあると思う。グリーンプランおおた（改定案）の88ページには、ヒートアイランド現象を緩和して、展開例として再生可能エネルギーの有効利活用の推進と、また、次期大田区の環境基本計画との連携・調整ということも書かれているので、今後、両計画が連携の下に、大田区のみどり、あるいは、環境保全等に力強く取り組んでいければと思っている。

委員（都市基盤整備部長）

- ・4つの基本方針に基づいて、私どもの役割も入ってきている。整理も非常に大事だが、整理した後が非常に重要だと改めて感じたところである。ふれあいパーク活動、おおた花街道等、整理事項の中に出ているが、これまで区民の皆様にご協力いただいているところである。
- ・パブリックコメントを受け、今回の改定案では、課題がいくつか出てきているので、十分に認識した上で、わくわくしながら使っていただける都市基盤施設にしなければならないと思ったところである。まだ案の状態であるが、今後、3つの将来像と4つの基本方針を共有させていただき、区内で連携して取り組んでいきたい。

委員（まちづくり推進部長）

- ・計画は、行政がつくって、それで終わりではなく、今後、地域の皆様、事業者の皆様と一緒に進めて、大田区のみどりの質を高めていくことが大切と思っている。計画のわかりやすさ、親しみやすさを持ってもらうには、どう出していくのか、素案の段階から事務局の中で検討を進めてきたところである。8月の推進会議でのご意見、パブリックコメントで46件、ホームページは閲覧した方が400件ということで、かなりの方に関心を持って見ていただけたと思っている。
- ・グリーンインフラの策定に向けた事業計画等、行政でも予算を確保するが、それ以外の部分で大田区のみどりづくりに賛同いただける方の基金を併せて、新たな具体的な取組として進めてまいりたい。推進会議は来年度以降も続いていくので、委員の皆様からご意見を頂きながら、方向性等、区として考えを深めていきたいと思っている。
- ・「大田区のみらいの都市づくり」という資料を紹介させていただく。資料を開いていただくと、まちづくりをどう進めていくかということで、テーマA・B・C・Dと大きく4つのテーマを掲げている。このみどりの計画は、テーマの中でも重要な位置付けの1つで、地球に優しい環境創出ということで、「水とみどりのネットワークによるやすらぎのある都市」をどうやって進めていくのかを示している。さらに、具体的に進めていく基本的な考え方が、皆様にご議論いただいたグリーンプランおおたになる。基本計画の中で決めてきたことを事業の展開例として示しているのので、こちらは次年度さらにご議論いただき、取組を進めてまいりたい。

委員

- ・剪定枝のことをあまりにも簡単に考えているのではないかというのが気になる。ウッドチップにして遊具の下でクッションに使うとか、落ち葉を発酵に使うというのは、15年前に大田区で事業としてやったが、6年しか続かなかった。
- ・植木屋は剪定枝を2トン車両で1カ月に約10台分を捨てている。われわれは役場の関係で公共事業をやっているから、その10倍くらい捨てている。いろいろと意見を言い相談もしたが、いまだに剪定枝のウッドチップが処理されていない。
- ・私の経験だが、ウッドチップは着火する。また、チップは雨で流れてしまう。

→委員長

- ・具体的な話はこれからである。ご経験も豊富で、知識・技術もいろいろとおありになられると思う。事業化のときには、またご相談をする機会も区のほうからあると思う。別の区では実際にやって成功している区や自治体もあるので、様々な事例を参考にさせていただき、今は全部燃やしているが、少しでも脱炭素に貢献できるように、みどりのまちづくりもそういう姿勢でいったらどうかという1つの試みである。

委員

- ・ダメという話ではなく、大田区が事業として6年もやって、その結果、何にもならなかったということである。チップ材にしたものに泥をかけて、1年経てば腐葉土になると言ってい

たが、結局、ならなかった。あまりにも簡単に処理していると、15年前にはどうしたのかという声がどこからか出てくると思う。

→**委員長**

- ・承知した。そういう経験も区のほうで、過去を振り返れば、いろいろと資料も出てくると思う。課題も解決方法も含めて、いいものは取り入れていただければと思う。そうすれば、先ほど申し上げたように、ほかの計画との関係、「Think Global・Act Local」の考えで行けば、剪定枝の問題は小さなものかもしれないが、地球環境の保全にも貢献するような話なので、一考する余地はあると思う。その際には、委員の考えや知恵もお借りしながら、進めていければよいと思う。

委員

- ・グリーン基金という素晴らしい案を活かすために、この場で各界の代表、区民の代表が審議をしているが、まちづくり、環境づくりをしている関係業者にグリーンプランおたへのご意見を伺うのも1つではないか。
- ・運営資金の面でも、ほかの方法、例えば、宝くじ的なものをつくって、区民にPRするというような運用基金の創設等、役所の立場があるのでわからないが、検討していただきたいという要望である。

→**事務局**

- ・重点的な取組として、グリーンインフラとグリーン基金の2つは、グリーンプランに示したものになるので、今後の案も含めて、推進会議といった場でお示しをして、意見交換をさせていただいた上で、しっかりと進めていく。

その他 今後の推進会議の進め方について

事務局

- ・今回の会議内容に対する質問等は、1月26日(木)までに事務局へ連絡をお願いする。
- ・また、今年度の推進会議は、あと1回ある。(4)の事務連絡に記載のあるように、令和5年3月22日(水)午後2時からになる。場所は、大田区役所 本庁舎11階 第5・6委員会室になる。開催通知については別途、事務局から送付させていただく。

委員

- ・今後の進め方について、活動を通じて思うのは、区民の声をどのように聞いていくのか、感覚だけの問題ではなくて、データを基に活動していく必要もあるのではないかとということである。最近の言葉として、グリーントランスフォーメーション、DX、グリーンインフラ、SDGs等はすべて、グリーンプランおたに係わるようなキーワードだと思う。それをどう実行していくかは、区民の意見だけでなく、「こういうことをしたら、こういうことになったから、こうしよう」といったデータに基づく会議になっていけばいいのではないかと感想を持った。

→**事務局**

- ・次回、案を示すので、そのときに意見交換をしたいと思う。こうするという一方的な案ではなく、意見交換をしながら決めていきたいので、今のようなご意見はありがたい。

委員

- ・152 ページの「みどりの現状」の所で、区内の人の流れを把握するためのデータは、とてもいいと思う。みどりの満足度は、住地域の尊重だけによらず、自分が動いたときに目にするみどりのこと等、いろんな角度からの視野で見られるのではないかと考えている。

事務局

- ・ほかにご意見等はあるか。
- ・途中で質問等の時間を設けず、申し訳なかった。それでは、本日の会議は、これで終了とさせていただきます。ありがとうございました。

以上